

【31】 屋内消火栓（1号消火栓）の使い方（2分13秒）

— 映像解説 —

<映像の概要>

映像は、1号消火栓の使い方を解説したものです。（解説ナレーションも入っています）

<映像の流れ>

映像は以下の流れのとおりです。

見出し	内容
1号消火器の取り扱い要領の説明 (00:00～00:27 付近)	1号消火器は必ず2人以上で取り扱います。1本15メートルのホースが2本収納されているので、合計30メートルの長さになります。火元に近くて延焼の危険のない消火栓を選びます。
起動ボタンを押す (00:28～00:35 付近)	起動ボタンを起動し、ポンプを起動させます。このとき、火災を知らせる警報ベルも同時になります。
ホースの取り出し (00:36～01:03 付近)	次に扉を開けます。中のホースを絡まないようにフックから外して取り出します。
ホースの延長（1人目） (01:04～01:26 付近)	脇の下に筒先（放水する側でホースに結合されている筒）とホースを抱え、火元に向かいます。この際、ノズル（筒先の先端部分）が下になりホースが上に来るようにしてしっかりと抱え、上からホースが順序良く落ちていくとスムーズなホースの延長ができます。ホースにゆとりをもってホースを延長します。
ホースの延長（もう1人） (01:27～01:37 付近)	もう一人は、ホースの延長の際、ホースを腰に当て、ホースにゆとりを持ってホースを延長します。
放水の準備（1人目） (01:38～01:48 付近)	ホースの延長後火元に向けてかまえて、消火栓ボックスの前で待機しているもう一人の人に「放水はじめ」の合図をします。
放水の準備（もう1人） (01:49～02:13 付近)	「放水はじめ」の合図で、バルブを開け送水します。送水を確認した後はホースの折れ曲がりなどを確認しながら、ホースの先に向かい、筒先を持っている人の補助をします。